第２回 **奨　励　賞**

部門：まちづくり［作品］／**市区町村名：**北九州市（福岡県）

高見三条住宅地

［**応募者**］　**氏名：**牧　敦司／**勤務先名：**株式会社　醇建築まちづくり研究所　／**勤務先住所：**〒 810-0004　福岡市中央区渡辺通 2-8-12 リンデン東薬院 1 F C
連絡先 (勤務先)：TEL(092) 737 – 3950　FAX(092) 732 – 7515　　Email:　c-maki@jun-machi.com

【応募理由】

マスターアーキテクト方式により、単に建築協定や緑地協定にとらわれることなく、景観的に柔軟でゆるやかな統一を図った住宅地として、特徴的であると考えられるため。

【作品または活動の概要】

「高見三条」戸建地区は豊かな緑地や川のせせらぎ、桜並木などの美しい環境を活かして、人と自然が共に生き生きと暮らす『桜と水辺とふれあいの街』をテーマとした戸建住宅開発です。開発にあたってはマスターアーキテクト方式を採用し、開発にあたって内井昭蔵氏をマスターアーキテクト（M.A.）とし、戸建地区の調整をブロックアーキテクト（B.A.）が各戸建住宅設計者に対して調整を図り、各設計者の個性を大切にしながらも、まとまりをもった『ゆるやかな景観の統一』を目指し、以下の５項目をコンセプトとして計画しました。

①桜をシンボルとした四季を感じる街づくり
②人と人とのふれあいを大切にした街づくり
③街並み景観の調和を考えた個性的で多様な住まいづくり
④水や緑、身近な自然と楽しめる街づくり
⑤お年寄りから子供まで全ての人にやさしい街づくり

【作品または活動の特色】

計画にあたっては、M.A.・B.A.・事業者が協議検討を重ね、ゆるやかなデザインコードにより大きなまとまりを持たせ、各戸建の設計にあたってはB.A.・事業者・住宅設計者による協議を粘り強く行うことにより「ゆるやかな統一」が行き届くようなシステムをつくり進めていきました。

計画は敷地の東西軸幹線道路に対して、それをつなぐように、それぞれ特徴のある歩行者専用道路（小径）を南北軸に配置し、性格の異なる道路がゆるやかにつながりながら「向こう三軒両隣」のコミュニケーションづくりを大切にした道路空間を計画しました。また、中央の道路には高見地区の水のシンボルである「せせらぎ」を、中心には「みち広場」を計画しました。

「高見三条」のまちづくりにあたって

「高見三条」戸建地区は豊かな緑地や豊かな緑地や川のせせらぎ、桜並木などの美しい環境を活かして、人と自然が共に生き生きと暮らす『桜と水辺とふれあいの街』をテーマとした戸建住宅開発です。開発にあたってはマスターアーキテクト方式を採用し、開発にあたって内井昭蔵氏をマスターアーキテクト(M.A.)とし、戸建地区の調整をブロックアーキテクト(B.A.)が各戸建住宅設計者に対して調整を図り、各設計者の個性を大切にしながらも、まとまりをもった『ゆるやかな景観の統一』を目指した、まちづくりを推進しました。

●高見三条の開発コンセプト

①桜をシンボルとした四季を感じる街づくり
②人と人とのふれあいを大切にした街づくり
③街並み景観の調和を考えた個性的で多様な住まい作り
④水や緑、身近な自然と楽しめる街づくり
⑤お年寄りから子供まで全ての人にやさしい街づくり

マスターアーキテクト(M.A.)・ブロックアーキテクト(B.A)方式によるゆるやかな景観の統一

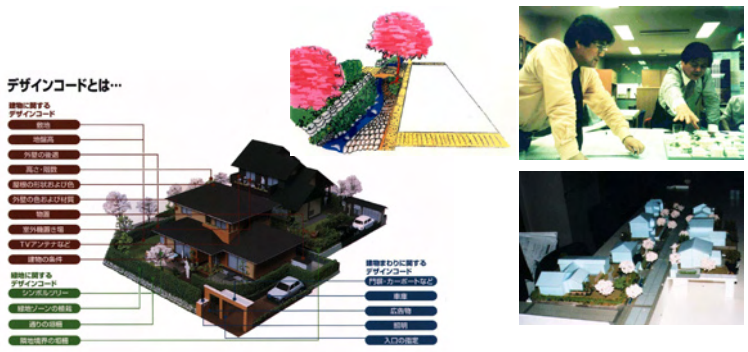
●高見三条全体計画

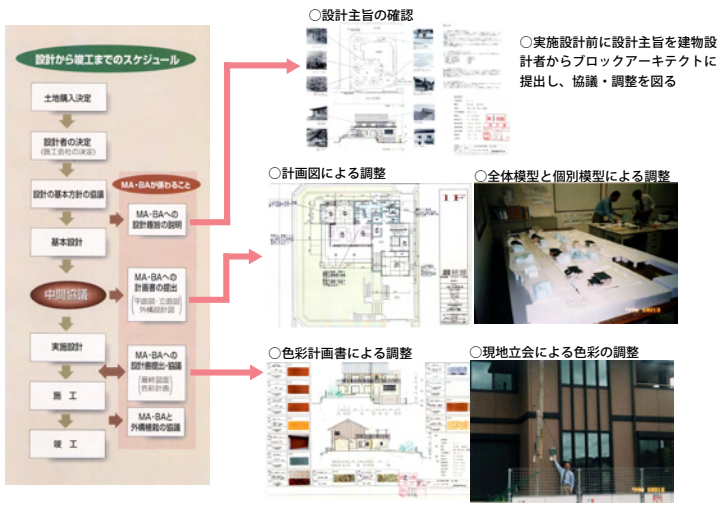
敷地の東西軸幹線道路に対して、それをつなぐように、それぞれ特徴のある歩行者専用道路（小径）を南北軸に配置し、性格の異なる道路がゆるやかにつながりながら「向こう三軒両隣」のコミュニケーションづくりを大切にした道路空間を計画しました。

また中央の道路には高見地区の水のシンボルである「せせらぎ」を、中心には「みち広場」を計画しました。

●具体的な計画の進め方

計画にあたっては、M.A.・B.A.・事業者が協議検討を重ね、ゆるやかなデザインコードにより大きなまとまりを持たせ、各戸建の設計にあたってはB.A・事業者・住宅設計者による協議を粘り強く行うことにより「ゆるやかな統一」が行き届くようなシステムをつくり進めていきました。





■応募者氏名：㈱醇建築・まちづくり研究所
代表　牧　敦司

「高見三条」のまちなみ

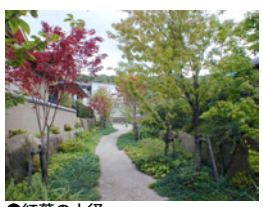
●高見上通り
初夏にはシンボルツリーである並木の葉桜が高見神社の鎮守の森と美しい緑の調和を奏です。

●高見上通りと住宅
後背地の山の緑と住まいの生垣やシンボルツリーの調和した緑あふれるまちなみを目指しました。

●おもいがわ通り
「それぞれの住宅が個性的であること」が高見三条の大きな特徴です。

●夜景
夜間でも街灯以外に住宅の門灯や足元灯が通りを照らし、高見三条の安全、防犯、夜間の景観に、各住宅が寄与しています。

●中の路



●紅葉の小径

●笹の小径

●あじさいの小径

●小径（夜景）

●足元灯

「紅葉」・「笹」・「あじさい」の三つの小径は、それぞれ四季の節目節目に彩りを沿えるものとなっています。
また、通りの正面や、街区の角地などでは、印象的な建物や、桜や植栽などがアイスポットとなるように、調整・誘導しまちなみにアクセント与え、均一な空間になりがちな住宅開発に多様性を取り入れるよう計画しています。

●せせらぎ

●高見通り

●玄関・カーポート廻り①

●玄関・カーポート廻り②

●メーター類

住宅地の中央部を東西に流れるせせらぎは、板櫃川の水を引きこみ、さらさらと優しい水音を響かせています。このせせらぎは既に地区の共有財産として、今では住民自ら手を入れ清掃する姿が見受けられます。

■応募者氏名：㈱醇建築・まちづくり研究所
代表　牧　敦司